

令和元年度第2回理事会 資料

令和2年度 事業計画

令和2年3月12日

公益社団法人日本印刷技術協会

■令和2年度計画の要点1

◆基本的な考え方

コロナウイルスの流行とともに始まった2020年度は、この影響をある程度受けることを前提に計画している。初夏頃までには収束するつもりで計画しているが、オリンピック中止まで発展した場合は、日本経済はより大きな打撃を受けることが予想され、再度の修正が必要になる可能性も残っている。

2019年度のJAGATは「デジタル×紙×マーケティング」を前面に押し出し、JUMP（JAGAT地方大会）や夏フェス、JAGAT大会、エキスパートDAY、そしてpage2020と「デジタル×紙×マーケティングfor Business」を謳って活動してきた。おかげさまで印刷業界にはずいぶん浸透し、実践している印刷会社も多くなってきた。

2020年度は、この火を消すのは中途半端すぎるとの判断から、まだ正式名称ではないが「デジタル×紙×マーケティング2.0」「デジタル×紙×マーケティングNextStep」として、このベクトルを発展させる活動をしたいと考えている。

資格試験の受験者減に歯止めをかける目的で開催した「エキスパートDAY」は、イベント自体は成功し、皆様からの反応も良かったが、受験者増に結びついたかという点では残念ながら目的を達成したとは言えない結果だった。今期も11月開催（12月上旬開催まで見据えて）として、受験者増を第一の目的として開催したい。また夏フェスは今度で三期目となり、イベントとしての認知度も高く、メーカーからの評価も得られるようになってきたので、事業化を意識して、有料セミナーやスポンサーセミナー等を考えていきたい。

JAGATの活動を持続させるためには人材が必要で、そのためにも研究要員の補充を重点的に考えている。また会員が自由に遊びに来られる環境づくりを目指すべく、昔だったら地方から上京の際には、必ずJAGATにも寄っていただけるという良き習慣があったが、時代も変わり、地方の若い方にも馴染んでもらうために、地方からも参加しやすいイベントを隔月に開催できるよう整備していきたいと考えている。「夏フェス」「JAGAT大会」「エキスパートDAY」「page展」「JAGAT地方大会（JUMP）」をより充実していきたいと考えている。

●研究調査部

印刷全般について技術・メディア・市場の観点から、広く印刷ビジネスの発展に貢献すべく継続的な研究調査活動を展開し、その研究調査結果は会員を通して広く社会に発信する。令和2年度については特に、drupaに見る印刷技術の新潮流・マーケティング・デジタル印刷・クロスメディア・地域活性ビジネス・見える化などを重点テーマとする。

毎月の研究調査の成果は機関誌「JAGAT info」の誌面を通じて会員に届ける。年間の研究調査の成果は「印刷白書」に集大成する。会員への情報は、月例研究会、会員大会（JAGAT大会・JAGAT地域ブロック大会）、pageカンファレンス等、様々な機会を通して発信するほか、特定分野の研究成果については適宜、書籍として刊行して業界に提供する。なお、資格制度事務局を研究調査部に移管したことから、運営の合理化と研究調査活動とのリンクを図る。

●CS部

教育機会の提供を担う部門として、各社の教育計画／教育体系づくりを支援する。業界のトレンドをとらえ、顧客ニーズに基づくセミナー・資格事業・通信教育・書籍発行等の企画、プロモーション、運営実施を通じて人材育成、ビジネス拡充に貢献する。

イベント企画では、JAGAT大会、JAGAT地域大会、夏フェス等のイベントを開催し、会員相互の交流、非会員の入会促進の機会としての場づくりを行う。

pageは総力を上げて前回以上の出展社、来場者、カンファレンス・セミナー参加者獲得を目指す。page2021はdrupa2020で訴求したポイントを、日本でPRする場となるべく、プロモーションを強化していく。他団体・イベントとのコラボレーションも視野に入れつつpageの将来の新展開を展望する。

●西部支社

近畿会員および幅広い企業・団体・個人に対し、印刷関連の情報発信、人材育成等を行うことにより、それぞれの発展に貢献する。企業・各種団体との協力、連携をさらに深め、JAGATならではの人材育成メニューを強化する。また、企業ニーズに応える人材育成事業を充実し、社内研修にも対応する。

■研究調査部

●部門方針

印刷の普及・振興・発展を視野に、印刷全般の研究と会員への印刷情報の発信を通して、広く印刷ビジネスの成長に貢献すべく研究調査活動を展開する。研究調査領域は、①技術②メディア③市場から構成して印刷全般をカバー、研究調査の成果は会員への情報発信を通して、広く業界全般に届ける。

毎月の研究調査の成果は、機関誌「JAGAT info」を通して会員に届ける。年間の研究調査の成果は「印刷白書」に集大成する。会員への情報は、月例研究会、会員大会（JAGAT 大会・JAGAT 地域大会）、page カンファレンス等、様々な機会を通じて発信する。

デジタルメディアの普及に伴い印刷会社はより広い事業領域への対応を求められるようになってきている。こうした変化全般を捕捉するため研究調査領域の拡大を続ける。特に 2020 年度の重点テーマは「drupa2020 に見る印刷技術の新潮流」「マーケティング」「デジタル印刷」「クロスメディア」「地域活性ビジネス」「見える化」など。

当会指導により厚生労働省令の母子健康手帳に採用された「便色カード」サポートの普及啓発活動を継続する。また、大学等での講師活動、印刷会社が発行主体のフリーペーパー展開催など、公益法人として積極的な印刷メディアの普及振興活動を推進する。

令和 2 年度からは組織改編に伴い資格制度事務局を研究調査部に置き、運営の合理化、試験の有用性の訴求、試験の抜本的見直しに取り組む。

●計画の要点・重点目標

- ・研究会活動は「マーケティング」「デジタル印刷」「クロスメディア」「地域活性ビジネス」「見える化」「海外印刷動向」を共通の重点とした研究調査とミーティングを企画開催、情報発信を展開する。
- ・特に以下を重点的な研究調査分野と位置づける。
 - ① マーケティング
 - ② デジタル印刷
 - ③ クロスメディア
 - ④ 地域活性ビジネス
 - ⑤ 見える化
- ・印刷関連団体（日本印刷産業連合会・全日本印刷工業組合連合会等）への協力。
- ・「印刷産業経営動向調査」「デジタル印刷レポート」「印刷業毎月観測アンケート」「カラーマネジメント技術サポート」など、従来の研究調査・コンサルティングの継続。
- ・資格試験では、2 段階制に移行した DTP エキスパートの改めでの認知度向上、クロスメディアエキスパートの抜本的見直し、事務局運営の効率化を重点とする。

◆研究会

●テキスト&グラフィックス部会

*研究領域

テキスト・組版、グラフィックス・画像に関する技術を基本的な主要研究テーマとし、関連生産技術分野も含めて研究領域とする。印刷・出版分野にとどまらない幅広いテキスト・グラフィックス関連情報を技術視点から研究調査、最新情報を収集・分析・発信する。

*重点テーマ

drupa2020が示す印刷ビジネスの近未来、デジタル印刷関連の新技术、ロボット化など自動化動向を中心に、カラーマネジメントの最新動向など、印刷生産・制作環境・工場運営の変化に伴って生まれる技術の評価と応用の可能性について特に探る。

*開催テーマ予定

- 第1回 AR/VRの活用
- 第2回 drupa2020プレビュー
- 第3回 drupa2020報告会
- 第4回 「色評価用LEDガイドライン」とカラマネ・照明の基本
- 第5回 印刷工程のAI活用
- 第6回 印刷生産の自動化・ロボット活用
- 第7回 カラマネの最新事情、リモート校正
- 第8回 MIS連携と見える化
- 第9回 page2021報告会

●クロスメディア部会

*研究領域

印刷メディアからデジタルメディアにまたがる情報メディア・コミュニケーション分野全般に関するメディア関連先進技術の動向を基本的な研究領域とする。アナログとデジタルを最大効率で組合せて活用するクロスメディア技術の手法についての動向を収集・分析・発信する。

*重点テーマ

デジタルメディアの活用による印刷ビジネスの発展、デジタルと印刷の組み合わせによる相乗効果の追求、デジタルと印刷の両方の知識を持つコーディネータ人材の育成に有用な情報の収集とそのあり方を研究する。

*開催テーマ予定

- 第1回 動画マーケティング
- 第2回 マンガマーケティング
- 第3回 コミュニティ
- 第4回 出版デジタル広告
- 第5回 AI活用の理論と事例
- 第6回 『印刷白書2021』白書発刊記念セミナー
- 第7回 電子書籍
- 第8回 投稿サイトと印刷
- 第9回 ローカル5G、LPWAなど通信関連

●印刷マーケット部会

*研究領域

印刷メディアからデジタルメディアにまたがる情報メディア・コミュニケーション分野全般に関するメディア関連先進技術の動向を基本的な研究領域とする。アナログとデジタルを最大効率で組合せて活用するクロスメディア技術の手法についての動向を収集・分析・発信する。

*重点テーマ

従来型印刷ビジネスの動向把握に加え、メディア・コンテンツ分野における印刷会社・印刷メディアの可能性など、視点を広く捉えた印刷ビジネスの調査に重点を置く。デジタルとマーケティングを活用した地域社会の活性化による顧客接点構築と需要創造も継続テーマとする。

*開催テーマ予定

- 第1回 広告・通販市場とメディアの最新動向
- 第2回 フリーペーパーの最新動向
- 第3回 チラシメディアの新たな展開
- 第4回 出版ビジネスの最新動向
- 第5回 最新調査に基づく印刷経営の実態2020（東京・愛知・大阪）
- 第6回 持続可能な社会へ向けた紙メディアの可能性
- 第7回 多様化と市場拡大の続く印刷通販
- 第8回 印刷ビジネスの動向と展望2020-2021（東京・大阪）
- 第9回 新聞・ニュースビジネスの方向性

◆研究調査事業

- 月刊誌『JAGAT info』の発行（年12回）
 - ・毎号の連載では、「デジタル印刷最前線」「私の若手社員時代」「技術トレンド：テキスト／グラフィックス／クロスメディア」「Education」「経営ウォッチング」「マーケティング情報」「キーワードを探せ」「印刷会社と地域活性」など印刷ビジネス関連周辺の研究調査情報を提供する。
 - ・毎号の特集では、技術・教育・メディア・経営・海外など多面的な視点からタイムリーなトピックを取り上げる。
- 『印刷白書2020』の刊行（年1回）
 - ・印刷業界唯一の白書として、年間の研究調査活動を集大成して制作する。
- 『デジタル印刷レポート2020-2021』の刊行
 - ・活用事例の調査結果とdrupa2020視察レポートを掲載する。
- 国際印刷機材展drupa2020
 - ・会場の視察
 - ・分析レポートの作成・掲載
 - ・報告会の開催
- 日印産連『デジタルプレス推進協議会』
 - ・協議会運営
 - ・調査票の設計・配布・回収・確認
 - ・調査結果の集計・分析・レポート作成
 - ・調査報告会
- 第42回『印刷産業経営動向調査2020』
 - ・調査結果の集計・分析
 - ・分析レポートのJAGAT infoへの掲載
 - ・回答社への分析結果フィードバック
 - ・報告会（東京・愛知・大阪）
 - ・報告書の制作・刊行
- 『印刷業毎月観測アンケート』
 - ・業況に関する調査・集計・分析・調査結果のフィードバックとJAGAT infoへの掲載
- 『全国印刷会社のフリーペーパー調査』
 - ・調査・集計・分析・調査結果のフィードバック
 - ・大学講義教材としての活用
 - ・『夏フェス』『page』等での展示陳列
 - ・印刷総合研究会での報告会
- デジタル印刷事例調査
 - ・実地調査とレポート作成
 - ・JAGAT infoへの掲載

- 地域活性ビジネス事例調査
 - ・実地調査とレポート作成
 - ・JAGAT infoへの掲載
- 印刷関連団体への協力・委員派遣
 - ・日本印刷産業連合会
 - ・全日本印刷工業組合連合会
 - ・東京都印刷工業組合
- 印刷振興のための講師派遣・講座開発提供
 - ・東京工芸大学
 - ・日本大学
 - ・早稲田大学
- 印刷会社の経営見える化支援
 - ・「見える化実践塾」の企画・運営
 - ・印刷会社の経営改善に向けた啓発、支援、組織化、コンサルティング等
- トピック技術セミナー2020
 - ・2020年の注目技術を集約して年末に開催する
- page2021カンファレンス（2021/2/3～5）
 - ・基調講演・グラフィックス・マーケティング・クロスメディアの4カテゴリからなる全15カンファレンスを開催する。
- 印刷標準・カラーマネジメントサポート
 - ・印刷会社及び印刷発注者への助言とコンサルティング。
- 新生児向け予防医療支援「便色カード」
 - ・カラーマネジメント技術を提供して母子健康手帳「便色カード」制作を全面支援。
- XMLパブリッシング準研究会の開催
 - ・XML技術による編集組版・オンデマンド出版・電子書籍をテーマとする研究会の運営。
- コンサルティング（依頼に応じ適宜）
 - ・カラーマネジメント分野
 - ・クロスメディア分野
 - ・その他

■CS 部

●部門方針

- ・会員を中心とした顧客に対して、会員社・有力企業訪問、各県工組との連携、JAGAT の総合力を発揮した page・各地域での JAGAT 大会運営等の機会を通じて最適なソリューションを提供していく。50 周年記念で立ち上げた「JAGAT Summer Fes」の拡充を図る。
- ・教育サービスは、各社の教育計画／教育体系づくりを支援しつつ、セミナー、通信教育、コンサルティング、書籍発行等の企画、プロモーション、運営実施をニーズに応えるようタイムリーに効率よく実行していく。
- ・公益法人としての JAGAT オリジナルの企画、コンテンツの提供を通じ、JAGAT らしさを追求していく。クライアント（印刷発注側企業）の課題解決も視野に入れた場づくりなど、JAGAT ならではの企画、コンテンツにより、他との差別化、付加価値向上を目指す。

●計画の要点・重点目標

- ・部門方針のもと、魅力ある JAGAT とそのメリットを訴求し、非会員社には入会を促す。特に大型セミナー参加企業、page 出展企業、各地域 JAGAT 大会（JUMP）参加企業の入会促進を図る。
- ・page は総力を上げて前回以上の出展社、来場者、カンファレンス・セミナー参加者獲得を目指す。page2021 は drupa2020 で訴求したポイントを、日本で PR する場となるべく、プロモーションを強化していく。
また、他団体・イベントとのコラボレーションも視野に入れつつ page の新展開を展望する。
- ・教育商品の主体であるセミナーは、業界のトレンドをとらえ、研究調査部とも連携を図りながら、顧客ニーズに基づく新企画、個別カスタマイズ等により人材育成、ビジネス拡充に貢献する。
- ・エキスパート資格試験の企業への教育プログラムへの採用の働きかけ、対策講座・講師派遣等の教育機会の提供、組合との連携など受験者獲得に向けた活動を継続するとともに、コストの抜本的見直しのため運営体制の見直しを図る。DTP エキスパート認証制度は二段階制へ移行したことに伴い、企画・営業職を始め印刷関連メーカーの人材育成に活用してもらうことで、受験者増を目指す。
- ・JAGAT Summer Fes（夏フェス）を page と共に JAGAT の 2 大イベントとして定着させるため、持続可能な事業としての確立を図る。

◆会 員

会員メリットの高い大型セミナーや page 出展等を訴求していくことで、会員拡大を図る。

*計 画

入会 12 社（再入会 3 社）：page4 社、セミナー・JGAT 地域大会 4 社、西部支社・その他 4 社

◆交流イベント／サービス

●JAGAT大会

会員大会＝JAGAT 大会は 11 月 26 日（木）に椿山荘にて開催を計画。
『印刷白書 2020』発表の場とする。

*計 画 有料参加 100 名

●JAGAT地域大会（JUMP）

地域単位での JAGAT 会員相互の集いの場である JAGAT 地域大会（JUMP）は、引き続き東北、中・四国、九州、近畿、中部の 5 ヶ所で開催。各地域の企画推進メンバーの協力を仰ぎつつ、魅力ある JAGAT らしい内容構成で各地を行脚する。

また、引き続き各地域でジョイントセミナーを展開し、地域大会とあわせて、参加の非会員企業に JAGAT への理解と入会、事業参加を促進する。

*計 画

東北・・・9 月（宮城県印刷会館）、目標 30 人 協力：東北地区印刷協議会、宮城県印刷工業組合
中国・四国（未定）・・・9 月、目標 30 人 協力：中国地区印刷協議会、四国印刷協議会
九州・・・10 月（福岡印刷会館）、目標 25 人 協力：九州地区印刷協議会、
近畿・・・10 月（太閤園）、目標 80 人 共催：大阪府印刷工業組合、協力：近畿地区印刷協議会
中部・・・1 月（未定）、目標 50 人 協力：愛知・岐阜・三重各県工組、（株）光文堂
※日程、内容等は各地区企画推進メンバーと協議

●JAGAT Summer Fes 2020（夏フェス）

8 月 20 日（木）～21 日（金）、JAGAT 本社にて開催予定。夏のイベントとして定着化を図るため、持続可能なビジネスモデル化を図る。

◆page／イベント

2020 年度は、drupa2020 の開催年度にあたり、大手機器メーカーを中心に、PR の場としてのイベントへの要求が高いことが見込まれる。page2021 は drupa2020 で訴求したポイントを、日本で PR する場となるべく、プロモーションを強化していく。また 8 月に実施予定の JAGAT Summer Fes（夏フェス）2020 は、協賛企業が大幅増加した前回の流れを汲みつつ、大新たな企画や、他団体・イベントとのコラボレーションを検討し、イベントを確実に実施していく。

*計 画

展示小間数 570 小間以上（出展社 概ね 166 社以上）

page2021 は、さまざまなオプションサービスによる出展価値の強化、広告連動企画の実現拡大を目指す。通期での事業展開を図り、8 月に実施する「夏フェス 2020」と連動し、JAGAT のあらゆる事業と page2021 の浸透・PR を結び付けて、出展拡大をはかり、収益事業として予算達成を目指す。「印刷パートナーズ」をさらに拡大し、新規出展社の増加を目指すとともに、JAGAT への入会促進につなげていく。さらに来場者目線に立ったクオリティアップを行い、イベントの価値向上によって業界全体の活性化に寄与すべく、様々な企画を検討する。

◆ 広 告

イベントと連動した媒体は、イベントに参加する企業にとっては相乗効果が見込まれ、広告出稿や協賛が期待できる。夏フェス 2020 及び page2021 においては、プロモーションプランを拡充する。また研究調査部や、外部ライターと連携し、企画広告の充実を図る。

*計 画

広告枠 Ji 誌 70 本以上（企画広告 6 本以上を含む）、不定期媒体などの広告枠 10 本以上

◆ 通信教育

JAGAT の通信教育は、唯一業界に特化した講座を提供できるという強みをもつ。特定時間の拘束や場所・距離といった制約を受けないというメリットとともに、これを広くアピールしていく。中堅規模の企業開拓、そのための内定者教育としての「新入社員コース」のプロモーションや短期受講型の新講座開発、セミナーとの連携を図る。

*計 画

- ＊JAGAT : 16 講座+受託販売講座 : 42 講座 合計 800 名受講
- ・「新入社員コース」内定者向け教育採用キャンペーンの早期実施。
- ・既存大口受注企業の継続受注。
- ・企業の教育体系の構築によるセミナーと合わせて受注。

◆ 刊行物

JAGAT の使命である情報発信ツールとしてのパブリッシングを継続していく。

「みんなの印刷入門」「オフセット印刷技術」「トラブル解決」等の印刷業界基本図書のテキスト採用等による販売維持。受験促進も含め、主催資格の対策参考書の発行。「印刷白書」「経営動向調査」といったコアな統計情報、「デジタル印刷レポート」等各種レポート類の発行、拡販を通じて公益事業体としてのパブリッシング、コンテンツ発信に努める。

*計 画

- ＊JAGAT 発行 18 点+受託販売 合計 1,600 冊+page 販売
- ・新刊「みんなの新印刷入門」のプロモーション、年間 500 冊以上
- ・「DTP エキスパート受験サポートガイド」改訂版のプロモーションと資格受験者拡大

◆ セミナー事業

● 本社セミナー

印刷技術から営業、マーケティング、デザインまで印刷業界に特化した内容でセミナーを展開していく。また、受講者の教育効果を追求するために、グループワークを取り入れての実践型セミナーも強化していく。

*計 画

定期プログラム 50 講座を準備し年間 90 回開催、総受講者数 1,000 名を予定する。

- ・大型ゼミの販売拡充（経営幹部ゼミ、印刷営業 20 日集中ゼミ）
- ・グループコンサルティング研修の開発（DM 関連）
- ・講師の発掘及び新規セミナーの開発
- ・生産性向上訓練の受託
- ・個別企業への教育及びコンサルティングの拡充

●地方・組合セミナー／認定講習会

要望の多い page セミナーや東京で多くの人が関心を寄せたテーマを積極的に提案・実施していく。

*計 画

JAGAT 主催地方セミナー・・・大阪を除く地域大会 4 カ所（仙台・広島・福岡・名古屋）でジョイントセミナーを実施、さらに別途広島、名古屋、仙台各所で年 1 回 → 合計 11 本
組合主催セミナー・・・新入社員研修会 6 県（宮城、富山、石川、岐阜、愛知、東京）
その他、各県工組に計 10 回講師派遣に向け提案

◆資格制度

*計 画

- ・DTP エキスパート及びクロスメディアエキスパートの人物像、役割を明確にし、業界及びメディア関連企業の将来を支えるために必要な人材であることを訴求する。
一方で、求められる新たな人材像に応じた試験制度の抜本的見直しを具体的に検討する。
- ・模擬試験講座、個別企業への講師派遣、などの受験対策のための教育機会を増強し、受験者増につなげる。
- ・DTP エキスパート認証制度は、2019 年度 3 月試験より、以下の二段階制に変更した。

<DTP エキスパート>

印刷物製作全体の知識を新ビジネスの創造・実践に結び付ける人材（学科）

<DTP エキスパート・マイスター>

印刷用データ制作において高いスキルを持つとともに、印刷物活用の目的を達成するためのデザイン力を兼ね備えた人材（学科＋実技）

学科試験のみによる認証を設けることで、企画・営業職を始め印刷関連メーカーの人材育成に活用してもらおうことで、受験者増を目指す。

■西部支社

*方針⇒支社としての役割の充実

- ・会員および幅広い企業・団体・個人に対し、印刷関連の情報発信、人材育成等を行うことにより、それぞれの発展に貢献する。
- ・印刷および関連団体との協力関係をより強化し、情報交換および人材育成の機会を創出する。

*計画

- ・セミナー58本（ライブ中継セミナー10本）開催、690名の受講を計画する。
- ・講師発掘による実践的、体験型セミナーおよび出張講座の開催を強化する。
- ・顧客ニーズに対応する実践的、体験型講座を開発し、人材育成事業の充実を図る。
- ・西部支社から近畿地域への入会促進および各種情報発信を実施する。

■管理部

*計画

- ・老朽化する施設設備の適切なメンテナンス及び中期修繕計画の見直し。
- ・遊休資産活用と社内環境整備。
- ・適正な人材補充。

令和 2 年度収支予算案

収支予算の事業別区分経理の内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

公益社団法人日本印刷技術協会

単位:千円

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	内部取引 消去	合計
	調査研究及び 人材育成	pageイベント	出版・広告	施設貸与	会員事業			
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用収入	1,100							1,100
一般基金運用収入	70							70
森沢基金運用収入	1,030							1,030
② 補助金収入	300							300
補助金	300							300
③ 会費収入	33,754	0	0	0	30,004	11,252	0	75,010
経常会費収入	31,302				27,824	10,434		69,560
入会金収入	405				360	135		900
団体会費収入	832				740	278		1,850
賛助会費収入	1,215				1,080	405		2,700
④ 事業収入	143,900	135,000	19,680	8,840	0	0		307,420
調査研究	24,490							24,490
セミナー	69,180							69,180
通信教育	13,500							13,500
資格認証	34,880							34,880
印刷白書	1,850							1,850
pageイベント		135,000						135,000
出版・広告			19,680					19,680
施設貸与				8,840				8,840
⑤ 利子収入	0	0	0	0	0	20	0	20
一般利子収入						20		20
⑥ 雑収入	0	0	0	0	610	50	0	660
雑収入					610	50		660
⑦ 指定正味財産からの振替額	2,805	132	66	66	132	99	0	3,300
指定正味財産からの振替額	2,805	132	66	66	132	99		3,300
経常収益計	181,859	135,132	19,746	8,906	30,746	11,421	0	387,810
(2) 経常費用								
① 事業費								374,010
役員報酬	16,891	375	188	188	375			18,017
給料手当	72,740	24,246	4,849	1,212	12,123			115,170
臨時雇賃金	263	0	36		170			469
退職給付費用	3,420	1,140	228	57	570			5,415
法定福利費	15,900	5,300	1,060	265	2,650			25,175
福利厚生費	480	160	32	8	80			760
会議費	1,794	160	32	8	80			2,074
旅費交通費	5,499	1,392	215	50	971			8,127
通信連絡費	6,345	1,380	616	18	1,870			10,229
器具備品費	136		123					259
事務用消耗品費	212	60	6	2	85			365
コンピュータ関係費	5,052	1,684	337	84	842			7,999
諸会費	552	236	27	7	68			890
広報費	2,035	1,660	62	3	30			3,790
印刷費	7,352	4,480	2,830	4	4,930			19,596
図書費	271	40	8	2	20			341
減価償却費	6,600	2,200	440	110	1,100			10,450
渉外費	329	60	22	3	50			464
水道光熱費	1,620	540	108	27	270			2,565
賃借料	1,836	612	122	31	306			2,907
租税公課(固定資産税)	2,880	960	192	48	480			4,560
租税公課(消費税)	7,200	2,400	480	120	1,200			11,400
保険料	90	30	6	2	15			143
営繕費	1,800	600	120	30	300			2,850
諸謝金	22,613	350	300					23,263
原稿料	285				900			1,185
会場費	8,647	25,050	100					33,797
委託費	13,819	36,000						49,819
編集校正費	1,440				355			1,795
雑損失	264	88	18	4	44			418
雑費	6,230	1,806	437	87	1,158			9,718

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	調査研究及び 人材育成	pageイベント	出版・広告	施設貸与	会員事業			
②管理費								11,660
役員報酬						751		751
給料手当						6,062		6,062
退職給付費用						285		285
法定福利費						1,325		1,325
福利厚生費						40		40
会議費						40		40
旅費交通費						251		251
通信連絡費						90		90
事務用消耗品費						7		7
コンピュータ関係費						421		421
諸会費						34		34
広報費						15		15
印刷費						20		20
図書費						10		10
減価償却費						550		550
渉外費						15		15
水道光熱費						135		135
賃借料						153		153
租税公課(固定資産税)						240		240
租税公課(消費税)						600		600
保険料						7		7
雑損失						22		22
営繕費						150		150
雑費						437		437
経常費用計	214,595	113,009	12,994	2,370	31,042	11,660	0	385,670
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 32,736	22,123	6,752	6,536	△ 296	△ 239	0	2,140
基本財産評価損益等								
特定資産評価損益等								
投資有価証券評価損益等								
評価損益等計								
当期経常増減額	△ 32,736	22,123	6,752	6,536	△ 296	△ 239	0	2,140
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
(2) 経常外費用								
① 固定資産除却損								
什器備品除却損								
経常外費用計								
当期経常外増減額								
法人税等税金						140		140
他会計振替額	15,706	△ 9,816	△ 3,000	△ 2,890				0
当期一般正味財産増減額	△ 17,030	12,307	3,752	3,646	△ 296	△ 379	0	2,000
一般正味財産期首残高								626,680
一般正味財産期末残高								628,680
II 指定正味財産増減の部								
一般正味財産への振替額	△ 2,805	△ 132	△ 66	△ 66	△ 132	△ 99		△ 3,300
当期指定正味財産増減額	△ 2,805	△ 132	△ 66	△ 66	△ 132	△ 99		△ 3,300
指定正味財産期首残高								69,387
指定正味財産期末残高								66,087
III 正味財産期末残高								694,767

JAGAT

公益社団法人日本印刷技術協会

本社：〒166-8539 東京都杉並区和田1-29-11 TEL 03-3384-3111(代表) FAX 03-3384-3216
西部支社：〒534-0027 大阪府大阪市都島区中野町4-4-2 TEL 06-6352-6845 FAX 06-6353-5020

<https://www.jagat.or.jp>